

16 工事関係者等による火災

【関連章第6章2】

事例2 「新築工事現場でアスファルト窯から出火した火災」

出火時分 5月 15時ごろ
用途等 新築工事中建物
被害状況 アスファルトコンパウンド若干焼損
概要

この火災は、新築工事中建物の屋上部分でアスファルトコンパウンド若干が焼損したものです。

出火原因は、アスファルト窯内でアスファルトコンパウンドを溶解していたところ、別の作業をするために目を離してしまい、時間の経過とともにアスファルトコンパウンドが過熱され出火したものです。

作業員は、アスファルト窯の火を止めようと戻ってくると、アスファルト窯内から炎が立ち上がっているのを発見しました。火災を発見した作業員は、近くにいた作業員と協力し、粉末消火器2本及び散水ホースを使用し初期消火を実施しています。

教訓等

この火災は、工事で使用するアスファルトを溶解する際に、火を使用した状態で作業員がその場を離れたため発生しています。万が一工事現場で火災が発生すると、周囲の可燃物を媒体に延焼拡大する危険性があります。

火災を防ぐためにも、作業工程で火を使用する場合は、作業におけるルールを徹底し、絶対にその場を離れたりしないようにしましょう。



写真 16-3 アスファルト窯の状況



写真 16-4 アスファルトコンパウンドの焼損状況